

大隅建設協同組合が発足

代表理事に立山氏

30社、経営基盤強化へ参集



選出された初代役員
＝大隅町の同組合事務所で

立山泰士代表理事
曾於郡大隅町内の30社で構成される大隅建設協同組合の発足と創立総会が6日、曾於郡大隅町の同組合事務所で開催された。創立総会では、定款制定案や建設機材及び資材の共同購買や建設工事等の共同受注などの事業計画と収支予算案など第13号までの議案を執行部原案通り全て承認したほか、初代代表理事に立山泰士氏(株川崎工業代表取締役)を選出し、組合の発展を誓い合った。

同組合は、厳しい状況下のなかで、中小建設業者が集まり助け合いの精神で共同購買、共同受注、共同事務代行等を実施して、スケールメリットの追求と経営基盤の強化を目指す。

総会では冒頭、設立発起人代表が協同組合設立の趣旨や経過を説明した。議長に三原啓靖氏(株三原組代表取締役)を選出、定款制定や初年度及び次年度の事業計画・収支予算案、共同事業の手数料、役員選出等を審議し、執行部原案通り満場一致で可決承認した。最後に、立山代表理事が「新しい形で組合が進んでいき、軌道に乗った形で新年度にバトンタッチしたい。ぜひ皆さん協力し合って頑張りましょう」と激励の言葉を述べた。

新役員は次の通り。
代表理事＝立山泰士(株川崎工業代表取締役)
副理事＝川原三三(川原建設)
理事＝三原啓靖(株三原組)、平中和幸(畠田建設)、川崎光司(南川崎建設)、監事＝中札剛(中札建設)、薬丸学(株薬丸建設)

大崎クリーンセンター通水式

施設の無事完成祝う

曾於郡大崎町が公共下水道事業の一環として益丸地区に建設を進めていた大崎クリーンセンターの水処理施設がこのほど完成し、8日、同町の現住民、関係者、地元選出議員ら約120人が参加して安全祈願祭と通水式を行い同センター完成と一部供用開始を祝った。

安全祈願祭では、地元国會議員代理や国土交通省九州整備局長代理、県知事代理、日本下水道事業団大阪支社長、町長、受益者代表らが次々と玉串を捧げ、安全を祈願した。式典では東靖弘大崎町長が「豊かな自然環境を維持していく事業で一朝一夕には完成していかないが今後も事業を推進し町民の福祉向上に努めたい」と式辞を述べ、来賓が祝辞を寄せた。このあと、関係者が通水スイッチを入れ、地元幼稚園児と近隣町長らがくす玉を割り式典を祝った。

同事業は、平成8年に着手、14年度末で約90分の区域整備を終えている。処理場は水処理施設が完了し他設備は建設中14年度までの総事業費は億3400万円、工事も含め約34・4億円。



通水スイッチとくす玉開披で祝う関係者
＝大崎町の現地で

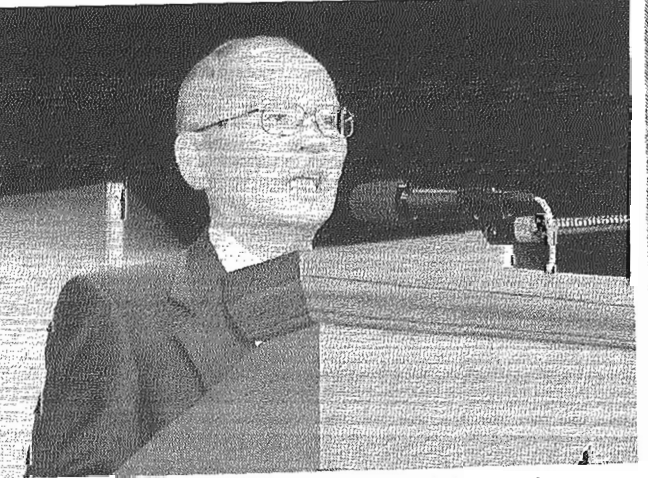
全解工連が10周年記念式典
事業地位確立へ決意新た
全国解体工事事業団体連合会(高山真幸会長)はこのほど、社団設立10周年記念式典を東京都内のホテルで開いた。来賓や会員ら約300人が出席し、同連合会の10周年を祝うとともに、解体工事の確立とレベルアップに向けて決意を新たに述べた。

挨拶に立った高山会長は、これまでの10年間の

成果を振り返るとともに、今後の解体工事事業の建設業許可業種としての確立に向けて、「会員団体は自信を持って活動を外部にアピールしてほしい。解体工事事業としての実績を残していくことが、独立した業種として解体工事事業を外部に認めさせていくことにつながる」と述べた。

また、解体工事に関する

「持続的発展が可能な経済社会における解体工事の位置付け」をテーマに記念講演を行った。全解工連は、任意団体を経て平成5年9月28日、解体工事の大型化に伴う施工技術の高度化や、分別解体と廃棄物のリサイクルへの対応などの課題を背景に、業界の地位向上と社会貢献を目指して社団法人として発足した。設立時の正会員は30団体だったが、現在は38都道府県から40団体が参加している。



解体工事の地位を確立させよう――と挨拶する高山会長＝東京都のホテルで

飛鳥建設と統合へ向け
TK統合推進室を設置
熊谷組
熊谷組(鳥飼一俊社長)は、17年4月の飛鳥建設との経営統合に向けた実務的な作業を進める「TK統合推進室」を経営企画部内に設置した。

組織変更ではこのほか、管理本部と財務本部とを統合して管理本部とし、財務本部の収支管理部門を課に降格。同じく財務本部の財務管理部門は廃止し、不動産関連事業部門を分割して10月1日に設立する「ニューリアルプロパティ(東信彦社長)」に移行する。

VEリーダ試験
1393人が合格、合格率42%
日本バリユー・エンジニアリング協会(立石信雄会長)はこのほど、第14回VEリーダ認定試験の合格者を発表した。3302人が受験し、1393人が合格、合格率は42・2%だった。

合格者の約75%が建設業が占め、その他の業種では、サービス、建設コンサルタント会社を含むコンサルティングが約10%で続いていた。また、大学や、専門学校の学生が約100人あった。

勤務先所在地の都道府県別に合格者数を見ると、北海道が約24%を占める331人と最も多く、次いで東京都の207人、愛知県の153人、長野県の139人、大阪府の92人と続いている。

この資格は、企業や団体の組織の生産ラインマン、グループリーダなど、15年度前期の試験となる。

肉の名門・島田屋の焼肉・バーベキュー セット宅配

ご予算少々、手軽で便利!

- 花見●懇親会●社内運動会などに●ホームパーティに●地鎮祭・上棟式・工事の節目に。

※屋内、屋外用器具無料(野菜・タレ・皿・ハン・おにぎり付)

島田屋 TEL(099)226-2088 FAX(099)226-2396

上本町15-9(国道10号線マルコ前信ちを鹿駅の方へ入る)

鹿児島市 都市計画見直し素案 11~13日まで説明会

鹿児島市は、都市計画区域マスタープランの策定案や線引き定期見直し等の見直し案について、市内5カ所で住民説明会を開催する。

開催場所と日程は、▽谷山サザンホール 11日午前10時~正午▽谷山北中学校体育館 11日午後3時~5時▽伊敷公民館 12日午前10時~正午▽吉野公民館 12日午後3時~5時▽かごしま市民福祉プラザ 13日午前10時~正午。

問い合わせは、鹿児島市都市計画課(099・216・1378)まで。